

<記入例>退職で未徴収税額を一括徴収する場合

令和6年度		給与支払報告 特別徴収		に係る給与所得者異動届出書		税額通知書に記載してある指定番号を記入してください。			
年度は、元号または西暦で記入してください。		(特別徴収義務者)		住所又は所在地 〒 000-0000		所属 人事課給与係		個人番号又は法人番号	
税額通知書に記載してある受給者番号および整理番号を記入してください。		東広島市西条栄町〇番×号		氏名 総務 花子		電話番号 082-422-2111		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 0 1	
		氏名又は法人の名称及び代表者の職氏名		担当				特別徴収義務者指定番号	
		〇〇株式会社 代表取締役 〇〇太郎						8 0000001	
受給者番号 A-0000002		(ア) 特別徴収税額 (年税額)		(イ) 徴収済税額		(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)		異動年月日	
整理番号 2		100,000		6 月分から		10 月分から		異動の事由	
個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2				9 月分まで		5 月分まで		□1 転勤・転職 ■2 退職等(A) □3 死亡 □4 休職・育休 □5 長欠 □6 その他	
生年月日 平成2 年 1 月 1 日								□ 少額(B) □ 不定期(C) □ 乙欄(D)	
フリガナ ヒガシヒロシマ ジロウ								□1 特別徴収継続 (新勤務先で徴収) →下記の①欄に記入してください。	
氏名 東広島 二郎								■2 一括徴収 →下記の②欄に記入してください。	
1月1日現在住所 東広島市西条栄町8番29号								□3 普通徴収 (本人が納付する) →下記の③欄に記入してください。	
給与の支払を受けなくなった後の住所 同上									
①「特別徴収継続」の場合(「一括徴収」する場合に記入してください。)									
新しい給与支払者 (特別徴収義務者)		住所又は所在地 〒		氏名又は名称		左記勤務先へは月割額 円を 月分から徴収するよう連絡済みです。		給者番号	
								事業所の場合	
								納入書 要・不要	
								新指定番号の事前連絡 要・不要	
②給与等の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収額)を「一括徴収」する場合に記入してください。									
一括徴収の理由 ※○をしてください。		徴収予定月日		左記の一括徴収した税額は		③「普通徴収」する場合、該当する番号に○をしてください。			
1 異動が当該年度の12月31日までで、申出があったため。		10 月 11 日		10 月分		④ 退職者の退職時における未徴収税額の一括徴収について			
2 異動が当該年度の1月1日以降で特別徴収の継続の希望がないため。		徴収予定額 (上記(ウ)と同額)		(11月11日納期限)で納入します。		・6月1日から12月31日までの退職者については本人の希望により一括徴収してください。			
		66,400 円		(注) 例えば、6月分とは7月10日納期分のことです。		・1月1日から4月30日までの退職者については本人の希望に関係なく一括徴収して納入することが義務付けられています。(地方税法321条の5②)			
★1月1日から4月30日までの退職の場合は、申し出がなくても必ず一括徴収してください(地方税法321条の5②)									
※市記入欄		提出先		東広島市役所 財務部市民税課市		一括徴収の対象となる給与等の支払日および税額を記入してください。			
						納付書の使用月を記入してください。			